

令和8年度 馬橋西地区意見交換会のテーマについて

（団体名） 馬橋住吉町会

（件名） 松戸市総合防災訓練の方向性等について

（具体内容）

馬橋西地区においては、毎年避難所訓練を実施し、その訓練内容は毎年種類を変えながら実施しておりますが、高齢化により参加人数も減少し、新しい担い手不足が深刻です。そのため、町会としても、小中学校や高校に依頼して、授業として防災訓練をするなどの努力もしてきましたが、今後地元の避難所を開設・運営に携わることも難しくなってきます。

したがって、今後は若い世代に次の担い手として引継ぎ、持続可能な体制を構築することが急務です。市の防災フェアを各地区などで開催することで、今まで無関心だった次の世代が近くなので来場し、防災意識や興味を持っていただく、一つのキッカケに出来ればと考えております。今後の市の総合防災訓練の方向性をお伺いします。

（回答）

- ・松戸市総合防災訓練の目的は、市民の防災意識の向上に加え、市の災害対処能力、特に初動対応能力の向上、および防災関係機関との連携強化にあります。

- ・このため、市としては防災意識の向上及び防災関係機関との連携のための「防災フェア」、災害対処能力向上のための「災害対策本部訓練」「福祉避難所開設訓練」「学校救護所訓練」「物資供給訓練」「救出救助訓練」「避難所直行職員訓練」など、実務的かつ機能別の訓練をあわせて実施しております。

- ・一方で、町会・自治会が主体となる「避難所運営訓練」については、従来どおり継続して実施しており、昨年度は約1,000名の方にご参加いただいております。

- ・総合防災訓練全体では、職員や防災関係機関を含め、昨年度は約3,800名が参加しております。

- ・これまでの総合防災訓練において、順番に地域を回ってそれぞれの地域の防災力を高める要領については一定程度成果があったと評価しておりますが、参加者が地域に限定されることや会場選定に協力を得られる体制の構築が必要であることなどの課題もございました。

- ・今後の訓練の方向性につきましては、訓練目的や訓練対象、これまでの訓練の成果の蓄積、地域での防災訓練の課題や地域の実情を踏まえ、ご要望の各地域を回る訓練要領を含めて、その時々課題に応じて柔軟に見直してまいります。

- ・特に、近年の能登半島地震等の災害事例から得られた教訓も踏まえ、不足している取組を補完しながら、より実効性の高い訓練となるよう改善を重ねてまいります。

- ・今回いただいたご意見も参考としながら、市民・地域・関係機関が連携した、より効果的な総合防災訓練のあり方について、引き続き検討してまいります。

（回答課）危機管理課